月刊 しばうら

2025 年 8 月号

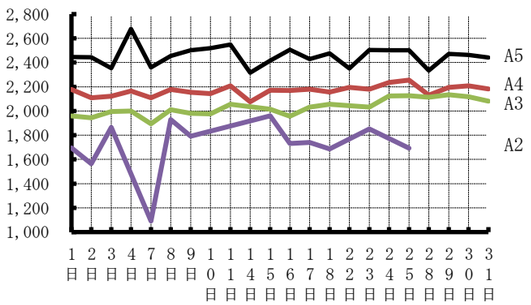
牛肉営業部

＜7 月の相場動向＞

例年、梅雨明け後は夏休みの行楽需要で枝肉相場が活発となるが、今年は 7 月 4 週目以降、交雑牛 4 等級を中心にようやく上昇し、和牛も前年・前月を上回った。要因として 8 月 3 週目の市場稼働が実質 0.5 日と少なくなることに加え、末端業者が 8 月末まで消費期限を維持できるよう、仕入れを 7 月末から進め始めた影響が考えられる。

一方、猛暑で外出控えが続き、量販・外食の動きは鈍く、仕入れ価格と販売価格が連動しないまま 8 月入りとなった。

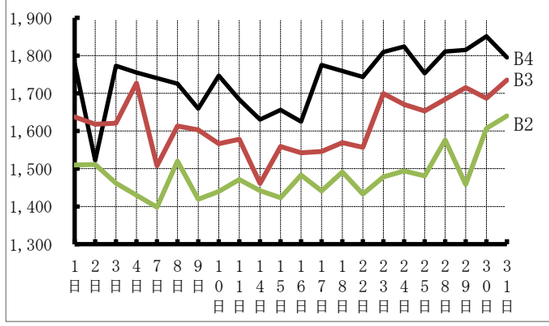
和牛去勢　日別相場表（7 月）



和牛去勢（月平均）

	加重平均	前年同月比		前月比	
A5	2,478 円	+101 円	104.2%	+50 円	102.1%
A4	2,171 円	+182 円	109.2%	+52 円	102.5%
A3	2,023 円	+171 円	109.2%	+15 円	100.7%
A2	1,736 円	+62 円	103.7%	-17 円	99.0%

交雑去勢　日別相場表（7 月）



交雑去勢（月平均）

	加重平均	前年同月比		前月比	
B4	1,760 円	+62 円	103.7%	+133 円	108.2%
B3	1,623 円	+48 円	103.0%	+56 円	103.6%
B2	1,483 円	+100 円	107.2%	+22 円	101.5%

乳牛去勢（月平均）

	加重平均	前年同月比		前月比	
B3	－	－	－	－	－
B2	1,234 円	－	－	-2 円	99.8%

＜8 月の牛肉輸入量予測＞

財務省が発表した輸入通関実績によると、6 月の輸入量は前年同月比 11.2%減の 4 万 2,244 t で、うちチルドは 20.3%減の 1 万 4,115 t 、フローズンが 5.7%減の 2 万 8,129t となり、ともに主要国が減少したことから前年同月比 11.2%減、前月比 12.8%減と大幅に減少した。

農畜産業振興機構によると 7 月の牛肉輸入数量予測は、前年同月比 15.3%減の 4 万 1,800t（チルド 17.3%減・冷凍 14%減）、8 月は 12.5%減の 4 万 2,800t（チルド 4.2%減・冷凍 16.4%減）と予測している。

冷蔵品輸入量については、現地価格の高騰などにより減少が見込まれており、7 月はかなりの程度、8 月はわずかに前年同月を下回ると予測している。

冷凍品輸入量については、米国産の前年の輸入量が少なかったことから、7 月は前年同月を大幅に上回る見込みであるが、8 月は現地価格の高騰などから、特に米国産の減少が予想される。

輸入牛肉通関量		6 月	前年同月	前年同月比
チルド	豪州	7,428	8,604	86.3%
	米国	4,964	7,357	67.5%
	その他	1,723	1,759	97.9%
	合計	14,115	17,720	79.7%
フローズン	豪州	11,253	14,111	79.7%
	米国	11,666	7,915	147.4%
	その他	5,210	7,809	66.7%
	合計	28,129	29,835	94.3%

出典：食肉速報　　単位：t

＜8 月の全国出荷頭数予測＞

農畜産業振興機構による 8 月の出荷予測頭数は、全体で前年比 95.6%の 7 万 8,900 頭で、品種別にみると和牛は 3.7%減の 3 万 7,100 頭、交雑種は 0.8%増の 1 万 9,300 頭、乳用種は 9.7%減の 2 万 2,000 頭と予測している。

東京食肉市場の 8 月のと畜頭数は 6,300 頭（前年同月比 4.2%減）を予定している。

＜8 月の牛枝肉相場見通し＞

物価高騰による生活防衛意識の高まりから節約志向が続いており、酷暑の影響で量販店の昼間の来客数も減少傾向にあるため、牛肉需要の大幅な回復は見込みにくい状況にある。夏休みの旅行需要が一段落する 8 月後半には、堅調な交雑牛も在庫を見ながらの調整が予想され、相場が軟調に転じる可能性がある。

一方、和牛は現時点で大きな動きはないが、秋以降の催事や産地フェアによる需要喚起に期待したい。

和牛去勢	価格予測	交雑去勢	価格予測
A5	2,250～2,550	B4	1,700～1,800
A4	2,100～2,250	B3	1,550～1,700
A3	1,950～2,100	B2	1,450～1,550
A2	1,700～1,950		
乳牛去勢			
B3	1,250～1,350		
B2	1,150～1,250		

豚肉営業部

6 月の全国と畜頭数は、123 万 1,119 頭(前年同月比 3.2%増)と前年を上回った。また、6 月の豚肉通関数量は 8 万 3,787t（前年同月比 2.5%増）と前年を上回り、前月比では 7.5%の減となった。内訳はチルドが 3 万 2,038 t （同 6.0%増）、フローズンは 5 万 1,749t（同 0.5%増）となった。

2024-2025 年の需給量と推定期末在庫						
	供給量		推定期末在庫		推定出回り量	
月	生産量	輸入量	国産物	輸入物	国産物	輸入物
6	66,310	81,660	24,750	193,156	65,692	78,429
7	71,679	86,155	23,227	195,529	73,101	83,782
8	65,651	84,078	22,108	200,290	66,675	79,317
9	68,773	78,666	21,580	201,197	69,219	77,759
10	7,9625	86,742	21,384	201,922	79,699	86,017
11	78,361	78,216	21,389	194,797	78,249	85,341
12	80,661	76,518	22,458	185,736	79,425	85,579
1	79,908	80,505	23,536	190,508	78,746	75,733
2	72,607	71,911	24,121	192,819	71,884	69,600
3	76,052	65,956	24,424	192,115	75,606	66,660
4	77,457	93,904	24,518	197,256	77,266	88,763
5	73,100	90,460	24,091	214,149	73,406	73,567
6	68,598	83,731	24,109	222,274	68,453	75,606
比	104%	103%	97%	115%	104%	96%

出典：農畜産業振興機構　比：最終月の前年同期比　　単位：t

6 月　豚肉通関実績					
国名	冷蔵	前年比	国名	冷凍	前年比
アメリカ	10,986	101.8%	デンマーク	2,652	66.3%
カナダ	16,895	105.2%	スペイン	17,480	122.3%
メキシコ	4,152	123.1%	メキシコ	5,028	89.0%
			アメリカ	8,411	105.2%
			カナダ	3,640	68.3%
合計	32,038	106.0%		51,749	100.5%

単位：t

＜7 月の豚取引の推移＞

	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
1 日	62,300	898	888	733
2 日	39,400	897	866	603
3 日	60,300	901	881	606
4 日	59,300	919	901	916
7 日	58,000	922	897	777
8 日	59,800	932	898	796
9 日	55,100	913	902	610
平均	56,314/日			720/日

7 月に入り、厳しい暑さが続き、連日猛暑日となった。高温の影響により肉豚の増体が思うように進まず、出荷頭数にも影響が及んだ。この結果、全国のと畜頭数は低調に推移した。一方、相場は上物価格が 900 円を超えるなど、予想を上回る高値での展開となった。

	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
10 日	58,700	912	901	706
11 日	52,800	919	904	841
14 日	60,400	923	894	628
15 日	59,200	940	912	803
16 日	56,500	936	913	612
17 日	58,100	935	911	689
18 日	59,100	948	929	813
平均	57,829/日			727/日

連休を目前に控えた時期でも、全国のと畜頭数は 6 万頭に届かず、依然として供給量が不足する状況が続いた。この影響で、枝肉価格は引き続き 900 円を超え、半世紀ぶりの高値水準となった。

	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
22 日	67,800	940	898	712
23 日	64,400	815	759	976
24 日	63,400	747	719	924
25 日	59,400	726	700	960
28 日	59,500	717	693	610
29 日	63,100	739	710	593
30 日	56,700	751	710	515
31 日	60,800	755	713	837
平均	61,888/日			766/日

連休明けの 22 日は相場が保合いとなったが、翌 23 日には一転して 125 円の急落を記録した。その後も相場は軟調に推移し、上物価格は最終的に 700 円台で落ち着いた。

＜8 月の豚枝肉相場見通し＞

農林水産省による令和 7 年 8 月の肉豚出荷予測では 129 万 1,000 頭（前年比 105.6%）と予測している。当市場の 8 月集荷予定せり頭数は 1 万 4,800 頭、1 日あたりでは約 822 頭を予定している。

農畜産業振興機構によると 8 月分の豚肉輸入見込数量は、総量で 8 万 500t（同 95.7%）、内訳は冷蔵輸入量が 3 万 1,700t（同 109.2%）、冷凍輸入量は 4 万 8,800t（同 88.7%）と予測。

冷蔵品輸入量は、米国産の価格上昇により価格優位性が生じたカナダ産の増加や、高騰する国産豚肉からの需要のシフトを背景に、前年同月をかなりの程度上回ると予測される。同じく 3 カ月平均でも前年同期をかなりの程度上回ると予測する。冷凍品輸入

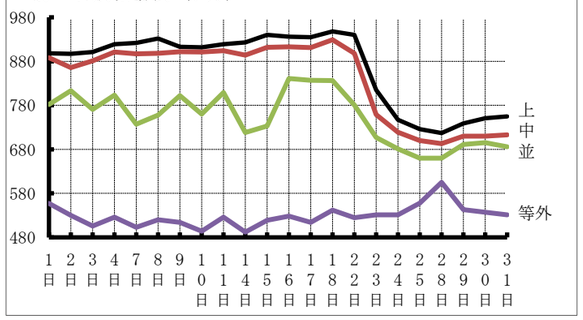
量は、国内の輸入品在庫の積み上がりに加え、現地相場の高騰により主に欧州産とメキシコ産の減少が見込まれることから、前年同月をかなり大きく下回ると予測される。同様に 3 カ月平均でも前年同期をかなり大きく下回ると予測する。

8 月は盆休みの帰省で地方中心に需要は高まるが、コメ高騰や物価高による消費者の節約志向が強く、消費の盛り上がりは限定的になりそうだ。売れ行きも中部位の動きは鈍く、スソ物やひき材中心の引き合いが続く見通しで、盆明けに補充買いが入っても相場の大幅な上昇は見込みにくい。

供給面では今年は開市日が少ないことにより、1 日当たりの上場頭数は前年を超える見込みだが、各地で 40℃を超える猛暑が続いており、発育不良による出荷キャンセルが増えれば、連休後に頭数減の懸念もある。

以上のことから当市場の上物平均価格は 780 円前後、中物平均価格 760 前後の展開と予測する。

豚　日別相場表（7 月）



東京都港区港南2－7－19
東京食肉市場株式会社
TEL:03-3740-3111　FAX:03-3472-0127